

山田クリニック ぽすと

平成27年 4月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

診察室から

今回は認知症のお薬の話です。将来に認知症になるのが心配なので、何かお薬はありませんかと相談される方が多いですが、残念ながら認知症予防薬は現時点では全くありません。また、認知症の方に投与することができるお薬は4種類が認可されていますが、どれも認知症を治すものではなく、認知症の進行をゆっくりにする作用しかありません。認知症の診断が正しく行われているならば、どのお薬を使っても2~3年で認知症は悪化してきます。お薬を飲んでいて5年以上悪くならなかった方もありますが、それは最初の認知症の診断が間違っていたこととなります。4種類のお薬のうち、3種類は抗コリンエステラーゼ薬と呼ばれる種類で、名前は難しいですがオウム真理教が使ったサリンと同じグループのお薬です。もちろん、非常に少ない量で使用しますので、たいいていの方には副作用は出ませんが、食欲が極端に少なくなったり、脈拍が少なくなったりする副作用が見られる方がいます。残りの1種類は他の薬とは少し違い、興奮が強い認知症の方に使用のお薬で、通常は重症の場合に使用します。次回は認知症のお薬の続きを説明します。

健康コラム

春と頭痛

皆さんは春と言ったら何を想像しますか？寒い冬が終わり少しずつ暖かくなって来る春は、色々なところで生活の変化が見られるのが特徴ですよね。大抵の人の春のイメージは「入学」「入社」「桜」「チューリップ」「眠い」「花粉」などではないでしょうか。

しかし、春は季節の変わり目ということもあり、体調が崩れやすいことが指摘されています。春の体調不良には花粉症などのアレルギー症状が有名ですが、疲労、めまい、うつなどの症状も多く見られるようです。春の頭痛は自律神経の異常が原因なのです。春の特徴と言えば天候の変化であり、暖かくなったり肌寒くなったりを繰り返します。これは単に天候の話ではなく、天気が変われば気圧の変化も見られることとなります。実は気圧とは、私達の身体に大きな影響を及ぼしていることが確認されています。その中でも自律神経は気圧の変化を受けやすいとされており、気圧が高い(いわゆる晴天)と交感神経が、気圧が低い(いわゆる雨)と副交感神経が優位に立つそうです。知っている人も多いと思いますが、交感神経が優位だと筋肉が緊張し血管が収縮、副交感神経が優位であると筋肉が緩み血管が拡張します。春は天候が目まぐるしく変わることから、これらの対応がうまく働かず自律神経に乱れが出るというのです。乱れた自律神経は血管の収縮がうまくコントロールできなくなり偏頭痛の原因になるのです。

とびっくす

エイプリルフール

エイプリルフールの語源は世界各国に諸説あるそうですが、仏教伝来のインドにおいては、春分の後3月末まで仏教の修行が行われ、その間は悟りの境地にあるものの修行が終わった4月1日は迷いの世界に戻ってしまうので、この日を「擲揄節(やゆせつ)」と呼び、からかいの行事を行っていたそうです。それがヨーロッパに伝わりエイプリルフールとなったという説があります。……

診察医のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	吉田	山田	吉田	山田	山田	山田
午後	吉田	吉田	×	×	吉田	×

午前診察 9:00~12:00 休診日:日曜・祭日

午後診察 4:30~ 6:30

ご連絡

4/6(月)午前診(吉田先生)は休診です。午後診は通常通り行います。

4/9(木)山田先生の午前診は休診です。

